

イラスト地図付き!!

三重県熊野市

波田須

HADASU WALKING MAP

散策

マップ

二千年のロマンと
あったかい自然に
つまれる場所。



温暖で自然豊かな
海沿いの町

はだす 波田須町

波田須町は三重県熊野市の海沿いにある、温暖で自然豊かな集落です。斜面に沿って集落が形成されており、様々な場所で熊野灘を見渡せます。小さな集落ではありますが太古のロマン徐福の宮や世界遺産熊野古道の一つ波田須の道、海が見える波田須駅などがあり、県内外から観光客が訪れています。景色の良い小道がいたるところにあり、熊野旅の散策にオススメのエリアです。



波田須町は
散策ポイント
盛り沢山!

二千二百年前の 冒険者伝説!! 徐福 じよふく

徐福とは今から2200年以上前に中国から日本に到来したと言われる人物です。当時、中国は秦(しん)という国が天下統一を果たし支配していました。あらゆる願望を叶えた秦の支配者である始皇帝は、さらに永遠の命をも願っていました。そこで不老不死を実現するための呪術や薬剤の調合に通じていた徐福に白羽の矢があたりました。徐福は仙薬があると信じられた日本へと旅立つことになったのです。波田須はその徐福が上陸した土地と言われているとされています。



徐福余は
永遠の命が
欲しいぞ!

秦の始皇帝

波田須の人々が
守り継いできた神社

徐福の宮



波田須のシンボルとも言える徐福の宮は、徐福伝説を今に伝える貴重な神社です。大きな楠が目印で、新緑に囲まれ気持ちのいい場所です。この神社周辺では秦の時代に使われていた半両銭や古代の陶器の欠片など、伝説の信憑性を高める品が多数出土されています。徐福が日本に到来したとき、秦の様々な最先端技術(焼物、農耕、捕鯨など)を伝えたとの説もあり、新たな文明が広がるきっかけになったとも考えられています。波田須は古くは「秦住(はたす)」と記され、秦とのつながりもうかがえます。

天台烏薬



アシタバ

雨の多い熊野は薬草の宝庫です。徐福が不老不死の仙薬として求めたのは天台烏薬(テンダイウヤク)と言われていますが、その時代に日本には自生していなかったため、トチバ人参やアシタバではないかとも考えられています。どれも波田須でよく見かけられます。

不老不死の仙薬
を求めて秦の国
から来ました。



秦の時代の「半両銭」。出土は国内でも珍しく、現存するのは十九枚のみです。



徐福の宮境内には徐福の墓もあります。



境内にある子宝の神。お社の裏手にあります。



徐福

世界遺産 熊野古道 波田須の道

「波田須の道」とは世界遺産熊野古道の伊勢路の一部です。伊勢路の中では最も古く、鎌倉時代に作られました。江戸時代に作られた道に比べると、石畳の一つ一つが大きいのが特徴です。距離も300メートルほど短いですが、その分気軽に熊野古道体験ができるのが魅力です。



初めての熊野古道歩きに最適!



熊野古道の中でも、初心者向けの道ですが熊野古道ならではの重厚な歴史の雰囲気を楽しめます。全行程20分ほどですので、普段歩き慣れない方でも気軽に古道を楽しんでいただけます(歩きやすい服装、靴で体験下さい)。

鎌倉時代の重厚な石畳が今も残っています。

鉄道ファンが集う 波田須駅 海辺の秘境駅

JR波田須駅は、波田須の海沿いにある小さな駅です。駐車場などが隣接しておらず、「えっ!こんなところに駅が!?!」というような場所にあります。独特の位置関係とホームから海が見えることから、鉄道写真ファンの方々に人気のスポットです。※写真撮影の際には安全に留意し、乗降客や鉄道運行の妨げにならないようご注意ください。



小道の先には海が見える小さな秘境駅!



波田須の駅前、何にもないけど絵になる景色

駅前的小道。味のあるポストがお出迎えしてくれます。

高台からの眺め 倉の門 大きな木が目印



細い坂を上った先の巨木が目印。

藩政時代、この場所には地下倉があったそう「倉の門」と呼ばれています。駅から細い坂道を上っていくと大きな木が目印です。ここは高台にあり海と集落が見渡せることから絶好のビューポイントとなっています。

アニメの舞台で若い観光客が増えています アニメ聖地 88選 (2018年度版)

「凧のあすから」というアニメの舞台(モデル)になったことから、熊野市は「2018年度版アニメ聖地88選」に選ばれています。波田須もその舞台の一つで聖地巡礼のファンの方々の来訪が増え、天女座でも交流会が続いています。



ファンが集う波田須のカフェ「天女座」。

波田須散策の拠点にどうぞ 徐福茶屋



テラスから見る海は絶景です。

波田須の道をぬけると見えてくる茶屋です。高台にあり、テラスから波田須の町と海が見渡せます。店内ではコーヒーや熊野産のミカンジュース、お土産ものも販売しています。

営業状況、開店日はFacebookページにてご確認ください。
徐福茶屋 Facebookにて検索

海が見える 小道を楽しむ 町中の景色

波田須の町中からはいたるところ海が見える景色が広がっています。季節を感じる花も多く写真を撮るのが楽しくなる、撮影ポイントが沢山あります。



小道を歩けば、まるで探検気分。



海が見える棚田もあります。



至・大吹峠

至・観音道

波田須駅前のレトロなポスト

波田須駅

倉の門

徐福の宮

JR 紀勢本線

おたけ茶屋跡

少林寺

御足跡水

浅間さま

天女座

このあたりにたくさん自生しているよ〜
茶の木 テンダイウヤク アマタカ

江戸時代の巡礼道標
「左なち道」と書いてあるよ〜

徐福茶屋

311

旧波田須小学校

波田須神社

波田須の道

至・新鹿

西行松

バス停 駐車場 (数台分)
おすすめビューポイント

【散策の目安】
波田須をゆっくり歩いて約2時間30分だよ。

散策の目安
波田須の道 …約30分
徐福茶屋→徐福の宮…約20分
徐福の宮→波田須駅…約30分
波田須駅→倉の門 …約15分

【注意事項】

- ・歩きやすい靴、服装でお越しになってください。
- ・ゴミはお持ち帰りいただき、植物などを採取しないでください。
- ・私有地や畑、線路へは無断で立ち入らないでください。
- ・町内は道が大変狭くなっております。お車でお越しの際は十分にお気を付け下さい。指定場所以外への駐車はご遠慮ください。
- ・バスの本数にご注意ください。

【アクセス】

列車・JR 熊野市駅 (特急停車) で普通列車に乗り換え、JR 波田須駅で下車。マイカー・大泊ICまたは熊野新鹿ICからR311 (いざねも約10分)

